

《港と道路の連携》

平成20年度  
国際物流基幹ネットワークの形成  
に向けた取り組み

# 高規格幹線道路等ネットワーク 平成20年度供用区間

## 京都縦貫自動車道

綾部安国寺IC～京丹波わちIC、L=約7.7km  
平成20年9月13日供用

## 中部縦貫自動車道

上志比～勝山市間、L=約7.9km  
平成20年度供用予定

## 阪神高速道路8号京都線

稲荷山トンネル(山科～鴨川東)、L=約2.7km  
平成20年6月1日供用

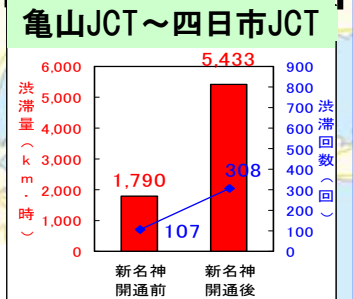
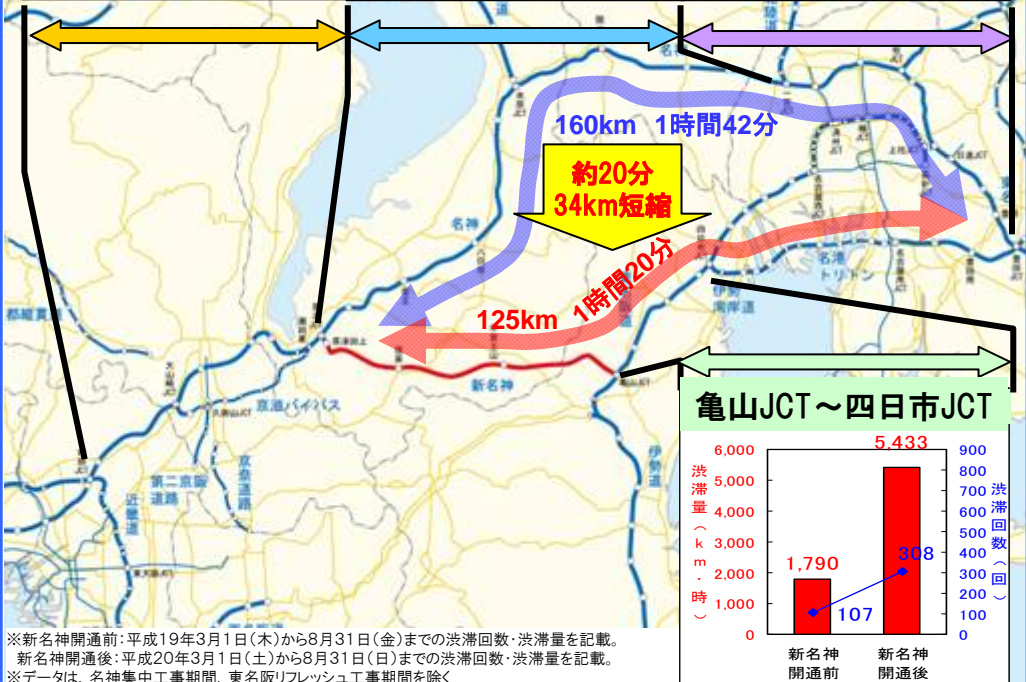
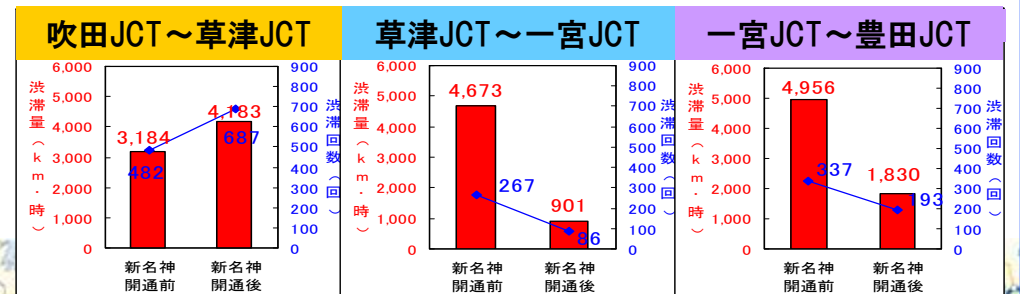


# 新名神高速道路(亀山JCT～草津田上IC間49.7km) 2月23日開通!!



## 開通後6ヶ月の渋滞状況の変化

- ・新名神高速道路の半年間の平均交通量は約29,000台/日で利用が定着
- ・名神高速道路の渋滞回数は草津JCT以東では昨年度に比べ約7割減少するなどの効果



※新名神開通前:平成19年3月1日(木)から8月31日(金)までの渋滞回数・渋滞量を記載。  
 新名神開通後:平成20年3月1日(土)から8月31日(日)までの渋滞回数・渋滞量を記載。  
 ※データは、名神集中工事期間、東名阪リフレッシュ工事期間を除く  
 ・名神集中工事期間 新名神開通前:平成19年5月21日(月)～6月2日(土)、新名神開通後:平成20年5月12日(月)～5月24日(土)  
 ・東名阪リフレッシュ工事期間 新名神開通前:平成19年6月4日(月)～6月16日(土)、新名神開通後:平成20年5月26日(月)～6月7日(土)  
 ※渋滞量:渋滞の規模を示す指標[最大渋滞長]×[渋滞時間]/2

## 開通時の新聞報道より

### 京都新聞(2/23)

『関西と中部結ぶ新たな大動脈に』

### 読売新聞(2/24)

『地域活性化に期待の声』

### 毎日新聞(2/24)

『甲賀中心に“新名神効果”  
企業立地など年々進展』

### 産経新聞(2/24)

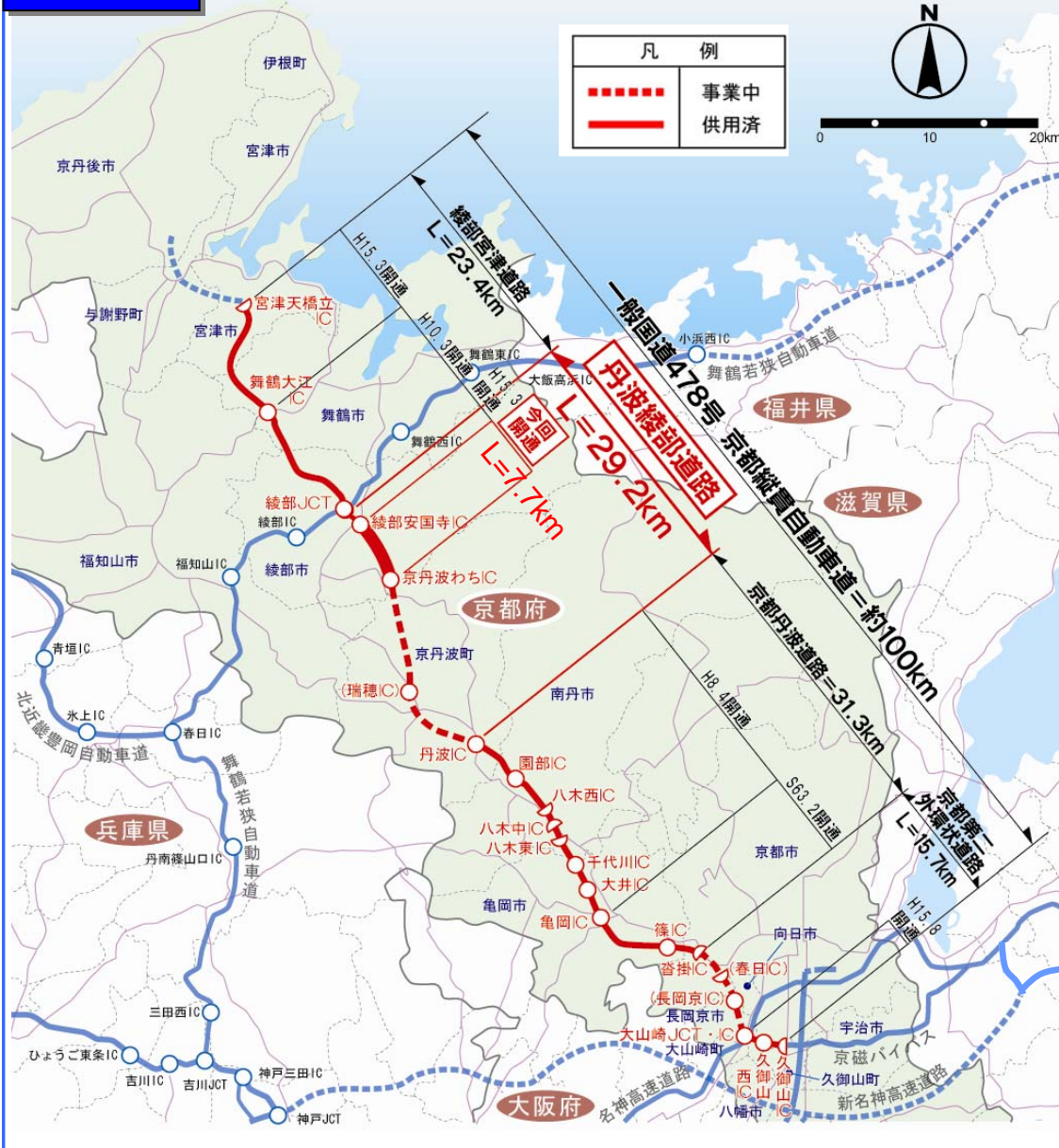
『産業・観光振興に期待』





# 京都縦貫自動車道(綾部安国寺IC~京丹波わちIC間7.7km) 9月13日開通!!

## 位置図



## 開通時の新聞報道

読売新聞(9/14)

『全路線の7割完成』

朝日新聞(9/14)

『北部活性化へ道開く』

京都新聞(9/13)

『府南北もっと近く』

## 開通区間



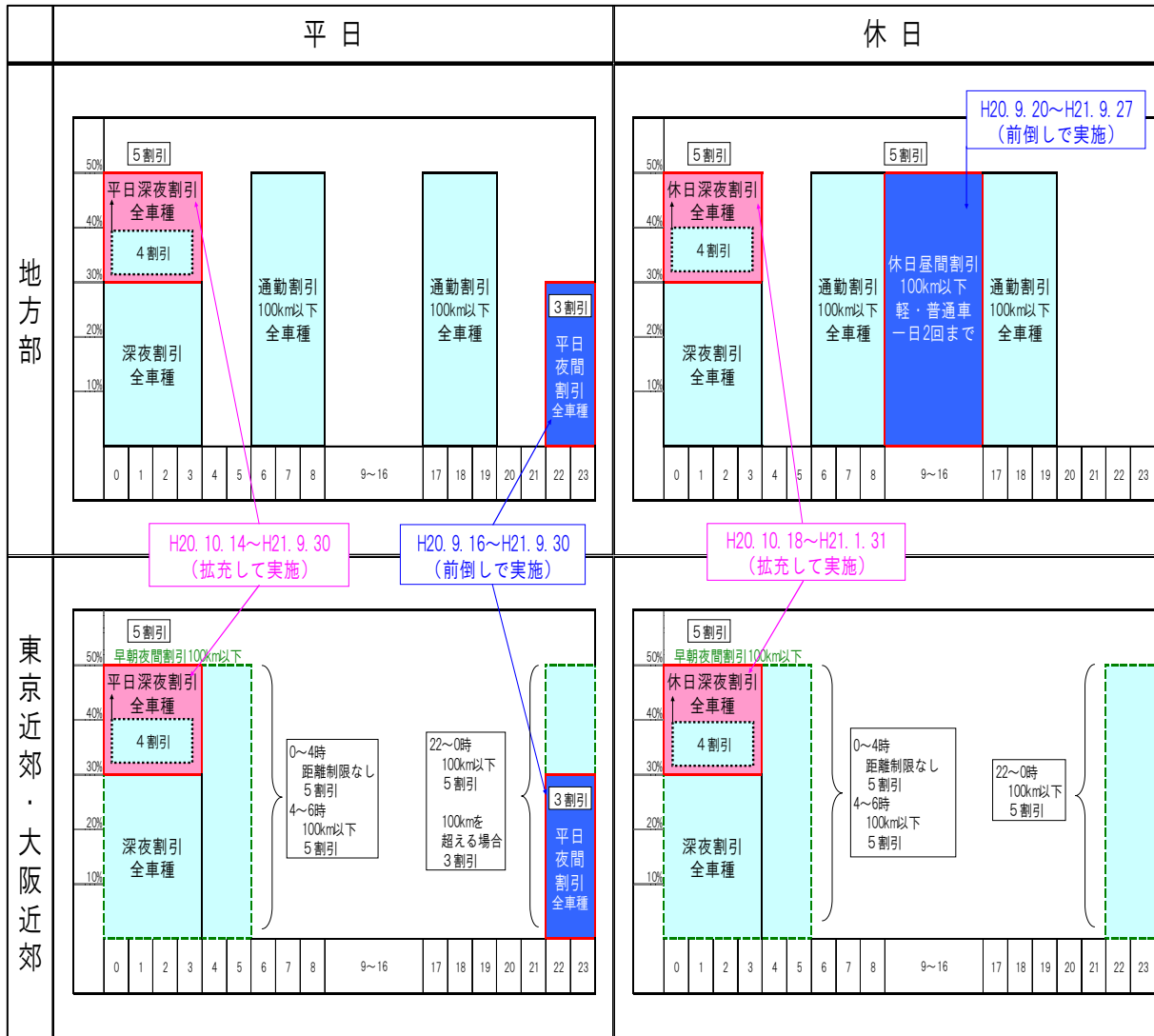
## 整備効果



# 料金割引の概要と対象路線(高速道路)

- 5割引 拡充して実施の割引
- 4割引 前倒して実施の割引
- 3割引 従前から実施の割引

- 5割引 平日夜間割引・平日深夜割引・休日深夜割引・休日昼間割引
- 4割引 平日夜間割引・平日深夜割引・休日深夜割引
- 3割引 早朝夜間割引適用※



## 休日昼間割引対象外区間

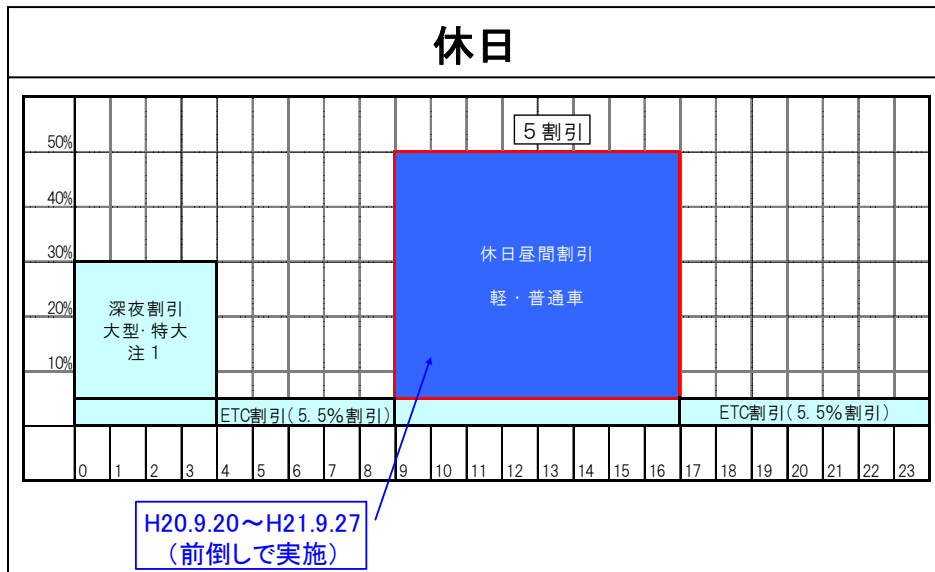
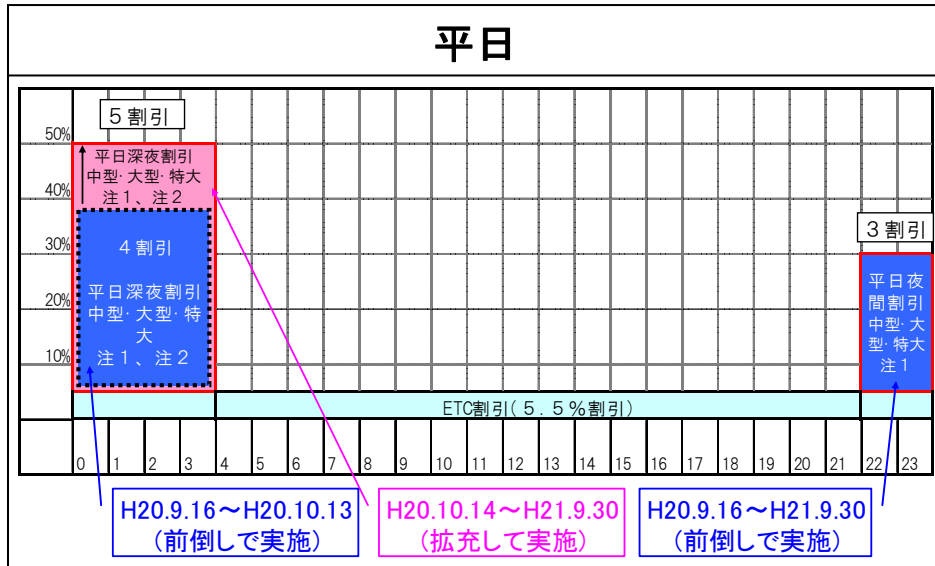


注: 割引対象の一般有料道路について、一部の割引適用が平成20年11月1日以降となります。

※ 100km以内の路線のため、原則として早朝夜間割引(5割引)が適用となります。なお、従来の早朝夜間割引の対象区間等に変更はありません。

# 料金割引の概要と対象路線(本州四国連絡道路)

- 拡充して実施の割引
- 前倒して実施の割引
- 従前から実施の割引



平日夜間割引・平日深夜割引  
及び休日昼間割引

注1: 神戸淡路鳴門自動車道および瀬戸中央自動車道において、本州四国間を直通走行した場合には全区間、直通走行でない場合は淡路島内の利用IC間が割引の対象。  
注2: 直通走行でない場合、神戸淡路鳴門自動車道 神戸西IC～淡路IC間及び淡路島南IC～鳴門IC間、瀬戸中央自動車道 早島IC～児島IC間が2割引。

# 高速道路の有効活用・機能強化について(1)

高速道路会社及び機構により、計画(案)のパブリックコメントが実施されました。

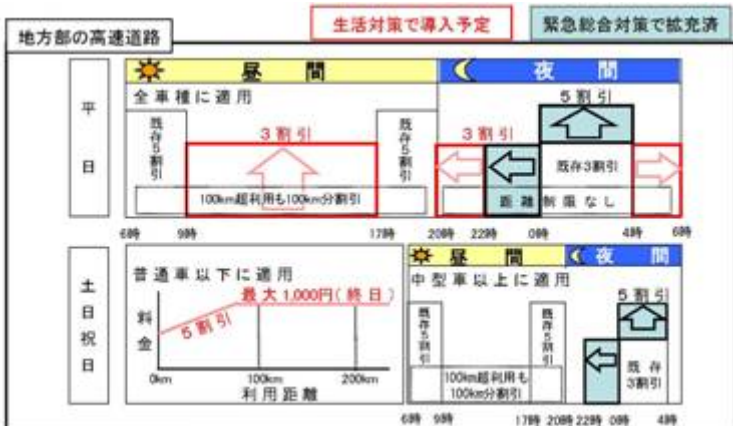
①「生活対策」として当面平成22年度までの取り組み

- ・地方部高速道路で、平日の全時間帯に3割引、土日祝日、乗用車は終日5割引で上限料金1,000円
- ・都市高速道路で、休日、全時間帯500円等

②高速道路の有効活用・機能強化を図るための約10年間の取り組み

- ・「安心実現のための緊急総合対策」として講じた措置の効果的な運用(実施中)
- ・大都市圏の料金施策(環状道路への迂回誘導等)、一般有料道路、特別料金区間等において利用転換を図る引き下げ等
- ・スマートインターチェンジの増設

【生活対策期間中における高速道路料金引下げ概要】

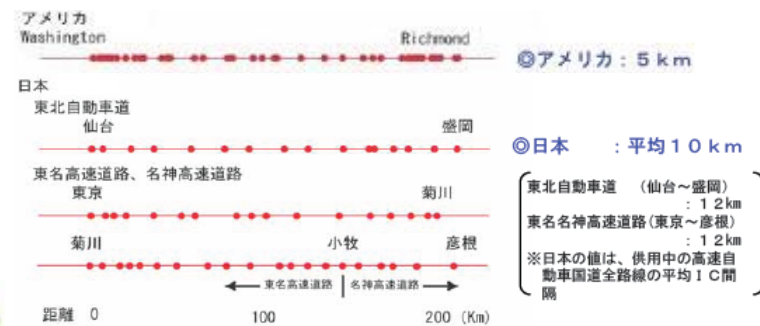


【京阪神都市圏の料金施策について】



【スマートインターチェンジの増設】

・将来的に高速道路の平均インターチェンジ間隔を欧米並の約5kmに改善することを念頭にして、当面、概ね200箇所以上の整備を目指す。  
(対象道路: 高速道路等、本州四国連絡道路)



「高速道路の有効活用・機能強化について」  
(平成21年1月16日国土交通省道路局記者発表資料より)



## 高速道路の有効活用・機能強化について(2)

### 【京阪神都市圏の料金施策について】

※全車種が対象になります。

#### ① 第二京阪道路

- 第二京阪道路全線利用割引: 第二京阪道路の全線を連続利用した場合、名神等を経由する料金を勘案した割引きを行う。  
※普通車の場合 巨椋池IC～門真JCT: ▲¥250、阪神高速京都線～門真JCT: ▲¥350、栗東IC～門真JCT: ▲¥500 など

#### ② 近畿自動車道、阪和自動車道

- 近畿道3線連続利用割引: 第二京阪道路⇄近畿道(門真JCT～東大阪JCT)⇄阪神高速東大阪線を連続利用する場合、近畿道を5割引 ※普通車の場合▲¥250
- 阪和道連続利用割引: 南阪奈有料(大阪府公社)⇄阪和道(美原JCT～松原JCT)⇄阪神高速又は近畿道又は西名阪道を連続利用する場合、阪和道を5割引 ※普通車の場合▲¥250

#### ③ 阪神高速湾岸線

- 湾岸線連続利用割引: ▲¥100～ ※普通車の料金。大型車は2倍。※料金圏界を1回通過する度に割引く金額。※対距離料金制度に併せて拡充を検討。

#### ④ 阪神高速北神戸線・神戸線

- 新神戸トンネル連続利用割引: ▲¥300～ ※普通車の料金。大型車は2倍。  
※新神戸トンネルと阪神高速北神戸線・神戸線との連続利用について割引。※阪神高速の対距離料金制度に併せて引下げ幅の拡充、ネットワーク化を検討。

#### ⑤ 放射高速道路⇄阪神高速連続利用 — 会社間連続利用割引(H23～): 普通車▲¥100 大型車▲¥200

※国幹道等と阪神高速を連続利用し、阪神高速の利用が一定の距離(混雑区間、特定料金区間を除く)までの場合に適用。

#### ⑥ 阪神高速京都線

- 通勤時間帯割引(平日6時～9時、17時～20時): (H21～H22) ¥250 (H23～H29) ¥300(山科～鴨川東は¥250)
- 土日祝日割引(0時～24時): (H21～H22) ¥250 (H23～H29) ¥300(山科～鴨川東は¥250)  
※普通車の料金。大型車は2倍。 ※平日は、月～金。

#### ⑦ 阪神高速道路(阪神東線・阪神西線・阪神南線)

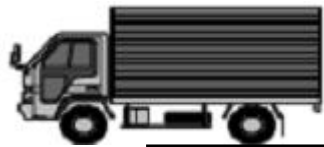
- 曜日別時間帯割引: 夜間2割引(平日0時～6時、22時～24時)、土日祝日2割引(0時～24時)
- 物流事業者向けの割引(大口5%) ※京都線の利用分も含む。
- 「生活対策」における重点的な引下げの後に、平成19年9月に公表した料金案<sup>注</sup>を基本に、上限料金を抑えつつ対距離料金制度を検討(その際、段階的な対距離料金、事業者向け割引(大口多頻度)の拡充を検討) 注) 阪神東線は下限400円上限1,200円とする対距離料金

「高速道路の有効活用・機能強化に関する計画(案)について」  
(平成21年1月16日 日本高速道路保有・債務返済機構及び高速道路会社記者発表(パブリックコメント)資料より)

# 物流機能の強化に向けた料金割引社会実験の効果

東名、名神、東名阪道等で、夜間割引時間帯の開始時間を0時から22時に前倒しする社会実験を実施した結果、ドライバーから好評をいただいています。

東名、名神、東名阪道等をご利用のトラックドライバー、一般ドライバーのご意見



SAご利用者

・料金所手前での割引開始待ちが減らせた

(芦屋IC→大津ICご利用)

・高速に乗れる距離が増え運転負担が減った

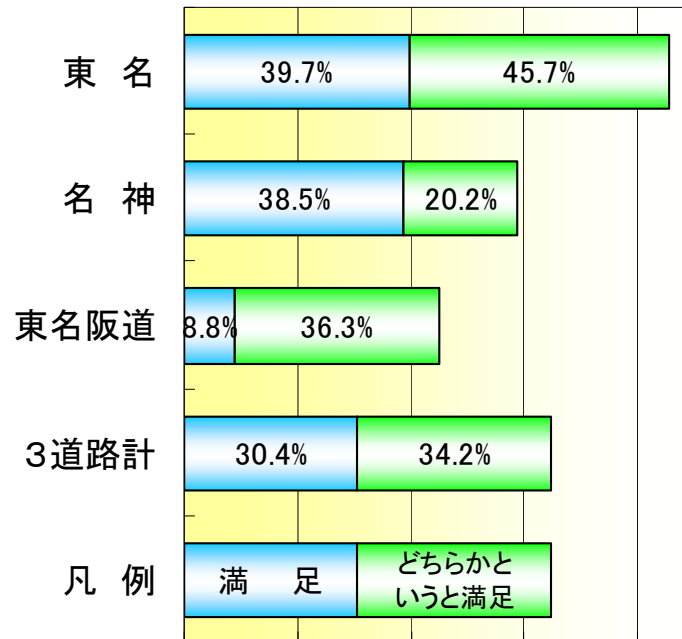
(大阪内IC→愛知内ICご利用)

・割引のおかげで高速に乗れた

(御殿場IC→東京ICご利用)

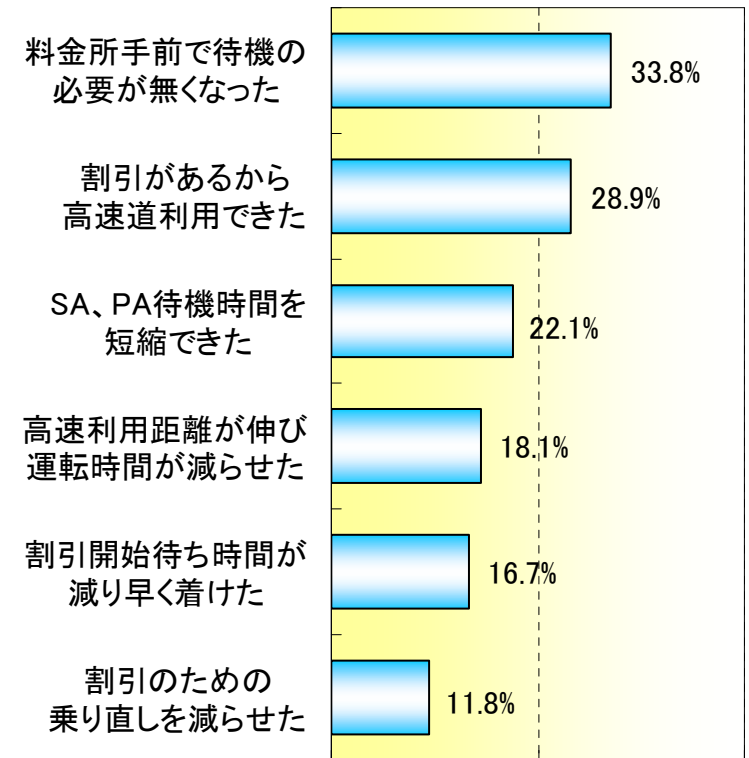
深夜割引の拡充への評価

0% 20% 40% 60% 80%



割引実験開始での運行変化(複数回答)

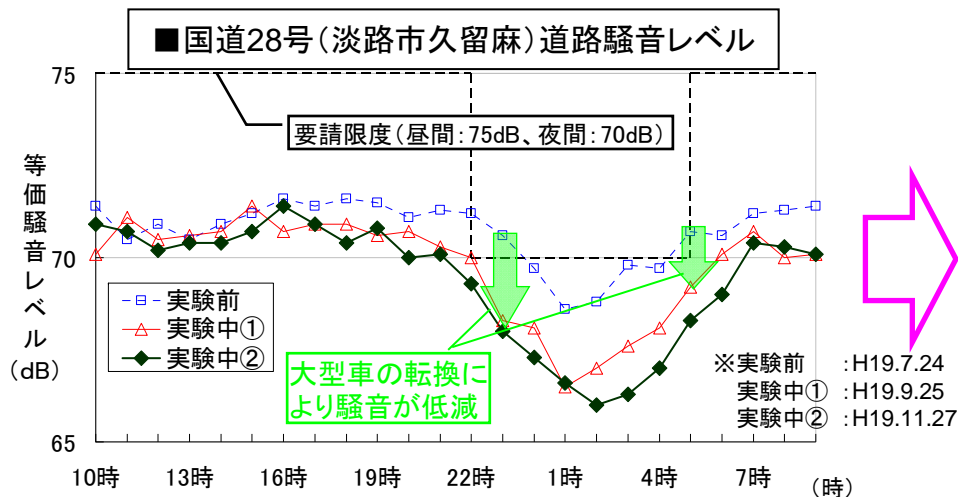
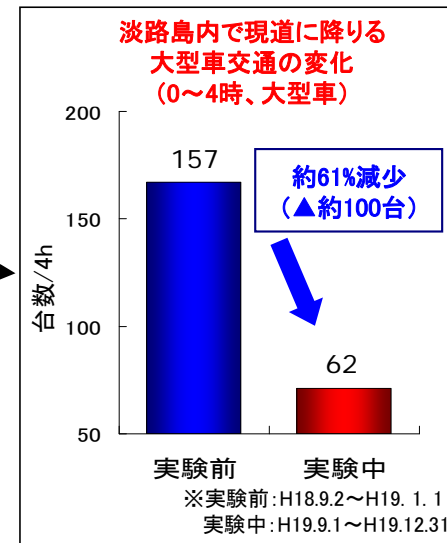
0% 25% 50%



平成19年7月 国土技術政策総合研究所調べ

# 物流機能の強化に向けた料金割引社会実験の効果

神戸淡路鳴門自動車道において、本州と四国間の直通走行と淡路島内区間走行の大型車を対象とする夜間割引の社会実験を実施したところ、淡路島で一旦現道に降りていた大型車が減少し、沿道の夜間騒音が改善しました。



沿道環境が改善  
(淡路島内の夜間騒音が減少)

# 都市内物流の効率化 (東大阪FQP協議会によるアクションプランの作成と実現に向けた取り組み)

【取り組み状況】・2006年11月、東大阪FQP協議会を設立。地域の課題改善に向けたアクションプランを作成し、その実現に向け、地域が一体となった取り組みを実施。

## 課題

### ◆東大阪流通業務地区の位置図

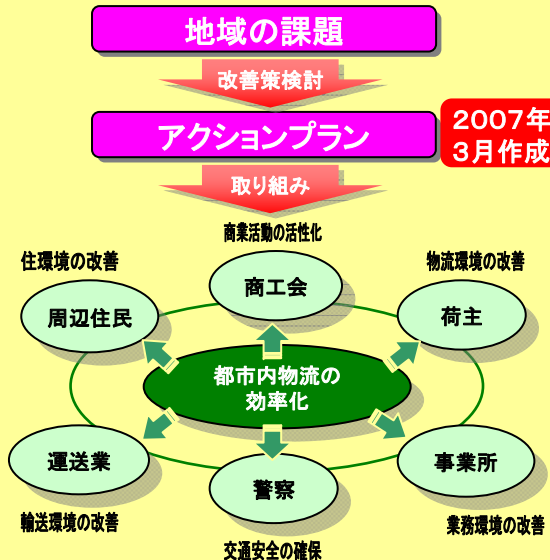


■物流貨物車等の路上駐車が日常的に慢性化し深刻な状況であるなど、地域に課題が存在



慢性的な路上駐車(地区内道路)

## パートナーシップによる取り組み



## 今年度の取組み

### 物流パークイングの整備

- 中環東大阪休憩所(北行き) 平成20年6月オープン
- 中環東大阪休憩所(南行き) リニューアル付帯工事着手



### 社会実験(車線規制)の実施



## アクションプランの概要

関係者が諸課題の解決を目指し自主的に 取り組むことができる施策

1. トラックの路上駐車解消



- ・東大阪物流パークイングの整備
- ・駐車休憩スペースの情報発信

2. マイカーの路上駐車削減



- ・指導、啓発活動
- ・規制強化

3. 走行ルートマネジメント



- ・生活道路への流入抑制
- ・地区へのアクセスルートマップ

4. 地区の環境改善



- ・緑化、美化活動
- ・アイドリングストップ



■協議会、ワークショップを通じて、利害が異なる関係者間の調整を図り、アクションプランを実行する。